

文化、娯楽、理解、本劇場ノ歴史トモトモ、其ノ高潔ナルハ格ヨリ流弊ハ努力ヲ惜マズ斯クテ
翁ノ是ノ意ハ必クハ攻テノ劇場受ノ純情ヲ一言ト解化シテアリ知フルニ支配人出張太郎ノ手腕ト
ハ善ク本劇場ヲ宣揚シテ今トシテ本劇場ノ歴史ハ創立日高次ニ拘テ期ニテ終ラズ之ヲアリテ
然ルニ然レテ我々ノ是ノ意ハ必クハ本劇場ノ歴史ヲ再建セラルヲ得ル事実ニ我々ノ劇場受ノ意ハ必クハ
心切トシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終ニシテ終
更ハハナリヤ、曰ク日本劇場重役ノ無能只ニ一語ニ盡ク詳言セシカ彼等重役ハ必ク功利ニ眩惑シテ其ノ力量ヲ計
ラザルノ無智、本劇場ノ使命ヲ解セズニシテ官私腹ヲ養フ事ニ専心スルヲ一事實殊ニ吾等某重役ノ如クハ何事劇場
経営ノ体験ヲテ後ラニ分不細知リ地位ヲ言談ニ大川翁ノ恩後ヲ忘却シテ唯自己アルノミヲ知ル彼等ノ如クハ必ク藝術界
ハノ汚濁タルノミナラス人向トシテ死ニ備スルハ宿命ヲ有スルモノト言フハハナリ「小人利ヲ示メテ國危シ」トハ古聖ノ
言ナルニ今日本劇場重役ハ聖ノ古聖ノ言ヲ如實ニ実行セリ不徳行ナリト云フモ次ニテ過言ニ非ラサルナリ不徳ハ迷ニ藝
術價值ハハ後蝕トナリ劇場経営ハ破綻トナリ是レ正ニ天理ニ示スル也ナリ故等重役ハ斯クテ期ヲルヘキ重役ヲ解セズ
正氣ハ解レフ、我々ノ責ヲ自己ニ求メスニテ他ニ致取ス、而シテ最モ忠實ニシテ最モ誠ニシテ最モ誠ニシテ最モ誠ニシテ自
己ノ不徳ヲ敵ハントシ誠首ニ次クニ誠首ヲ管轄職員不安ヲ醸スヲ以テ本劇場重役任務ニカノ此ク考ヘアルナリ
凡ソ生現不安ノルル処其処ニ接答ハ理ノ不整調ヲ悉ク人情ノ自然示トシテ有テスヘキ我々ノ日毎ノ生現ハ不
一球ノ暗黒依連スルヲ如何セント三嘆ス、斯クテ我々ノ眞實ニ思フ、過リ日ノ醜又然散ラレ廢世日劇ノ冷
又帝都ノ中央ニ再現スルニ至ラントシテ危ルハ我々ノ責任ノ生現ノミニ出ダセズ、大衆的ニ本劇場未來ノ使命ヲ爲メニ
茲ニ日本劇場重役改組運動ヲ起シテテ而シテ該運動ノ実行ハ余ク大川翁ノ眞意ヲ承クニ藝術界ノ感佩シテ生現
ル者我々ノ是外ナラズルベカラシ、而シテ我々ノ是ノ運動ニ賛成スル、遺憾トシテ動キ世事ニ茶山ノ如シ
茲ニ日本劇場重役改組運動ノ内容ヲ示シ我々ノ大川翁並ニ我々ノ賛成スル、大方各位ニ宣言スルコトナリ、
昭和九年五月四日

日本劇場重役改組

代表者

- 對馬 勲
- 高田 正吉
- 加藤 繁次郎
- 鈴木 善吉

常務理事 勞働第一 五四號

勞働課長 昭和九年五月九日

警視總監 藤沼 庄平

事務

内務大臣 山本 達雄 殿

社會 局長 長官 殿

映画常設 大塚松竹館 勞働爭議ニ關スル件 (第一報) 解決

標記 勞働爭議ハ五月四日當廳調停課ニ於テ斡旋ノ結果圓滿解決
セルガ前報後ハ狀況九記ニ通リ

一 經過

事業主側

事業主 岡島太郎ハ爭議解決ノ爲メ館ノ後継經營者ノ物色並
一 退職手当等ノ金策ニ終始奔走セルモ爭議中ナル力ヲ爲メ遂

9.5.13
5818